

木協通信

第62号
発行年月日
平成31年1月5日
日田市大字東有田
字新山2776-6
日田木材協同組合
TEL24-2167



☆日田木材協同組合百年を語る

日田郡木竹商共算組合規約書

第七章 補則

第四十七条 創業費は此の規約改正前計算年度内にて償却皆済に付別に項目をも置けず

第四十八条 此の規約及び申合書実施の日より従前の契約及び規約申合等総て相廃し効力なきものとする。

前条の通り各自盟約の証拠として調印致し置くものなり。

明治廿九年五月廿五日

日田郡高瀬村 横尾順一
同 郡 隈町 相良瀧六

以下省略
次号へ続く

☆新年のご挨拶



日田木材協同組合
理事長
瀬戸亨 一郎

昨年は、日田木材協同組合も40年ぶりの移転の年でした。改めて移転に伴い、おかけしたご迷惑の詫びと、ご協力に感謝申し上げます。

また、同程度の期間賃貸していただいたマルシヨク・サンリブ様が撤退されましたが、11月にはドラックストア・モリ様が開店されました。これにより一連の移転事業は、一段落いたしましたし、賃貸収入等は予定通りに推移しております。

一方、残念なのは数年来課題となっておりました恵良土場の活用問題でございます。想定外の九州北部豪雨の土砂により埋立は完了しましたが、跡地利用につきましては、なんらい報告ができて年を越してしまいました。なるべく早いうちに跡地利用のご提案ができればと考えておりますので、組合員の皆様からの情報提供もお願いいたします。

皆様のご協力のおかげで移転先にも慣れて参りましたし、移転による業務の効率化も期待できますので、本来の組合事業に専念できる体制は、整いつつあると思っております。本年は、私共の業界を取り巻く環境が大きく変わる年になるうとしておりますが、その変化に対応できるよう努力いたしたいと考えています。

30年あまり続いた平成も今年で終わります。どのような新しい元号となるか、今から楽しみです。本年もよろしくお願いいたします。

☆第2回販売会議

共販委員会主催による第2回販売会議を12月17日に開催いたしました。製品担当高瀬より、11月までの販売状況と、乾燥加工担当河津より、乾燥加工の実績報告を行いました。

日田林業・木材産業の現状と課題」日田市農林振興部 江崎部長と、森林認証COCのグループ認証について」と題し、日田市林業振興課 永楽主査に講話頂きました。

江崎部長は3年前に日田に生まれ、平成28年の経済センサスを基に日田林業の傾向と雇用環境等を話されて、今後の発展にと講話されました。

森林認証のグループ制度については、多くの意見が出され、有意義な時間となりました。



☆第10回 木と暮らしのフェア

去る12月9日日曜日にパトリアで木と暮らしのフェア開催されました。

木協からは一坪の禅部屋と、佐藤重利さんからお借りした300年生の丸太から製材した笹目の大黒柱と、100年以上前に制作されたと思われる江戸時代の大径木のノコによる製材風景の模型を寄せていただきました。みんな初めて見る模型に関心を寄せていました。組合員からも製品の展示等がありました。



☆日田祇園山鉾へアカマツの伐採

ユネスコ無形文化遺産に登録 日田祇園祭」で用いられる山鉾の車輪が入手困難という事情で日田祇園山鉾振興会会長 後藤稔夫氏から調達の要請があり、この度大分西部森林管理署管内九重町国有林地よりアカマツの適材が見つかりました。立木の胸高直径は88cm強で枝下6mはほぼ直材が見込まれ伐・搬出作業も非常に良好な立地条件でした。30年10月3日日田市串川町(有江藤索道作業により伐倒。長材にて搬出 元直 5.1m 采口62cm)を行い当日日田市清岸寺 東栄木材(株)へ納入完了。10日に大分西部森林管理署益田署長、日田市農林振興部江崎部長、日田祇園山鉾振興会 該当町内含む)、木協佐藤理事その他大勢見守るなか東栄木材により約30cm幅に元側より輪切りが行われ直径70cm上迄用材で採りまし。山鉾の車輪新調の際使用を予定してあり保存方法としてはドラム缶に水道水、池に沈める等町内により異なる模様。今回地域の重要な行事継承にむけアカマツの調達に御尽力頂きました関係者の皆様、本当にありがとうございました。



☆お知らせ

○平成31年初市 県木青会協賛
1月15日(火)、今年の初市は大分県木青会の協賛を頂き開催いたします。多数のご出荷、お買い上げを宜しくお願い致します。

○木材製造業安全衛生管理研修会

日田木材協同組合では木材製造業における自主安全衛生活動促進の一環として、日田労働基準協会のご協力を頂き、左記の日程にて研修会を開催致しますので、ご参加を賜りますようお願い申し上げます。

日時 平成31年2月7日

午後一時より約1時間

場所 日田木材協同組合2階会議室

講師 安全衛生士 石川幹靖 氏

テーマ 木材製造業の着実な実施に向けて